

みんなの町議会



目次

- 定例会の経過 2～3
- 決算特別委員会 4～7
- 常任委員会の焦点 8～9
- 一般質問に7名登壇 10～17
- 臨時会・全員協議会・陳情と意見書 18
- あれ なんと なったべが！ 19
- よぐきてけだな・がんばってます 20

No.148
2021年10月1日

民間活力で盛り上がる森山から
望む街並みと金色の野

過疎地域持続的発展 計画の策定を可決

9月
定例会

持続的発展のための対策を 総合的かつ計画的に講ずる
「持続的発展」を実現できるよう 確実に遂行しなければならない
期間：令和3年度から 7年度までの5カ年

議会の経過

9月定例会はこれまで同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応を施したうえで、9月6日から17日まで12日間の日程で開かれた。



感染予防対策が続く議場

委員会から3名ずつ、計6名の委員を選出し決算特別委員会を設置。
2〜3日目 一般質問に7名が登壇。
子どもの弱視早期発見、今後のコロナ対策、旧開発公社による土地先行取得、大川地区国道への横断歩道設置、町各種事業の進捗、企業誘致と観光振興、救急を含めた地域医療の確保などについて質問をした。

3日目 令和3年度一般会計補正予算など議案16件と報告案件5件が上程され、その後、各常任委員会で審議した。

4日目 各常任委員会

5〜11日目 決算特別委員会各課室の令和2年度決算について審議。

最終日 決算特別委員長、各常任委員長報告のあと、全議案を認定・可決・報告済み、陳情3件を採択した。その後、委員会提出議案1件を全会一致で可決、1件は起立採決により賛成多数で可決した。最後に人事案件1件に同意し閉会した。
詳細はP18を参照願います。

定例会で可決・認定の 主な内容

- 過疎地域持続的発展計画の策定
- 火葬場改修工事請負契約の締結
- 学校医など非常勤特別職の出務に応じた報酬額
- (株)あつたか五城目の経営状況

● 令和3年度一般会計補正予算ふるさと納税寄付金増額(見込み) 2,000万円

● 食品衛生責任者受講料補助 66万円
● 朝市出店者55人分 43万円
● 雀館公園遊具修繕 43万円
● 農業夢プラン応援事業
● パイプハウス2棟分 100万円

● 中学校給食室危惧修繕 171万円
● 災害復旧事業関連 1,267万円

● 令和3年度水道事業会計補正予算配水池流量計更新 700万円



老朽化が進む配水池

● 令和2年度各会計決算認定

五城目町過疎地域持続的発展計画とは

本年4月1日、「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法(過疎新法)」が施行された。10年間の時限立法であるこの法律は、過疎地域における持続的発展に重点が置かれているもので財政的な支援が明文化されていて、これに対応するため町の計画を策定するもの。

基本方針

「五城目町総合発展計画」に基づき、国・県の施策と連携し、雇用の創出や地域の活性化を図り、少子高齢化による地域経済の停滞とコミュニティの活力減退の課題に取り組んでいく。

地域の課題を官民共有し、町民との協働により具体的な対策を組み立て実施していくことを基本方針とし、適宜必要な見直しや変更をおこなうながら進める。

計画期間

【前期5年間】
令和3年4月〜令和8年3月
【後期5年間】
令和8年4月〜令和13年3月

施策項目

- 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成
- 産業の振興
- 地域における情報化
- 交通施設の整備、交通手段の確保
- 生活環境の整備
- 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進
- 医療の確保
- 教育の振興
- 集落の整備
- 地域文化の振興等
- 再生可能エネルギーの利用推進
- その他地域の持続的発展に関し必要な事項

人権擁護委員の 選任に同意

再任

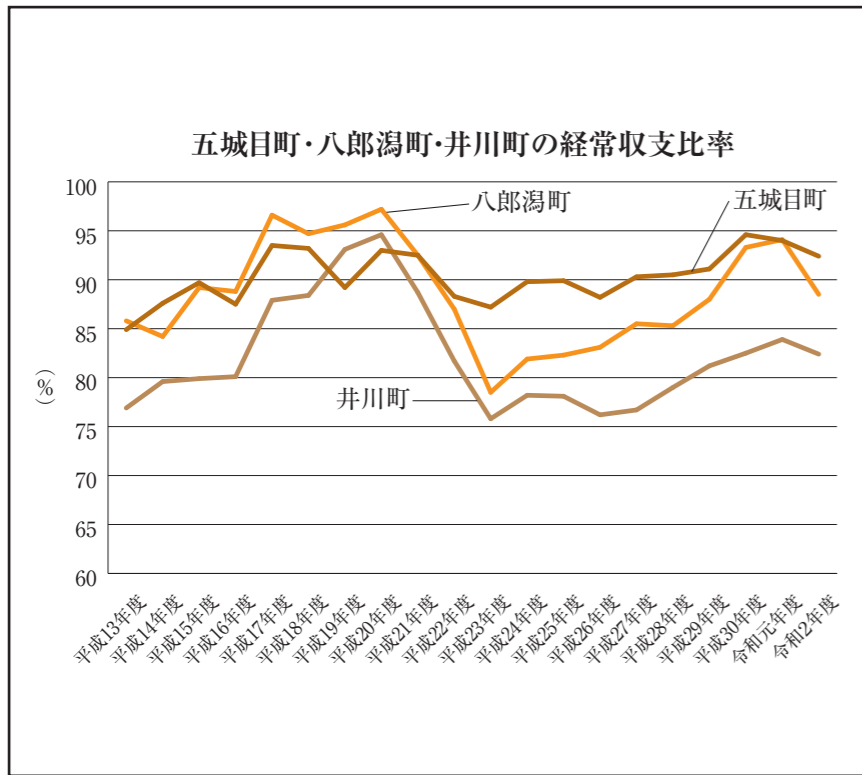
猿田 秀樹氏(64歳)

上樋口



人権擁護委員は、法務局と連携して地域の皆様からの人権に関する相談を受け、問題解決のお手伝いや人権侵害の被害者の救済、地域の皆様の人権について感心を持ってもらえるような啓発活動をおこなっている。現在5人の方が活動されている。
町長が議会の同意を得て選任する。
任期は3年。

待ったなしの町財政 根本的な行財政改革を



低いほど良いとされる経常収支比率

経常収支比率とは

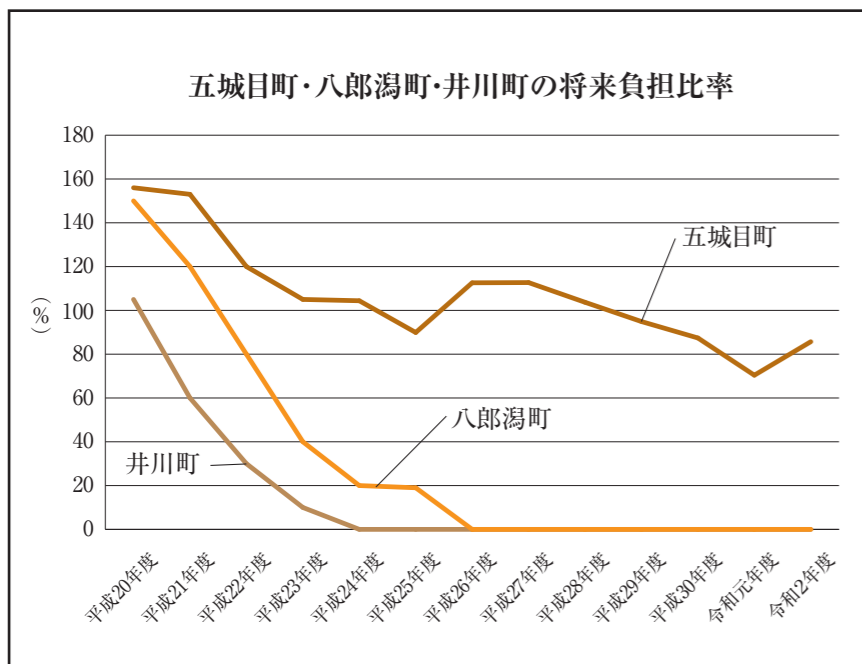
財政構造の弾力性を測定する指標。比率が低ければ低いほど財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金があることを示している。

将来負担比率とは

将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高を指標化し、将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標。この比率が高いと、将来的に財政が圧迫される可能性が高くなります。

令和2年度決算に基づく比率調べ

町 村 名	経常収支比率 (%)	実質公債費比率 (%)	将来負担比率 (%)
小坂町	89.3	16.0	82.0
上小阿仁村	94.5	6.4	—
藤里町	88.5	7.6	32.7
三種町	90.2	7.3	—
八峰町	93.7	9.6	—
五城目町	92.4	10.5	85.7
八郎潟町	88.5	11.8	—
井川町	82.4	7.0	—
大潟村	91.0	8.6	15.8
美郷町	84.4	△0.3	—
羽後町	90.6	10.3	23.1
東成瀬村	100.4	15.7	46.6



高いほど将来的に財政が圧迫される

決算特別委員会

町有施設の長寿命化に備え公共施設等
総合管理基金の積み増しが必要



5日間にわたり行われた決算特別委員会



委員長
畑澤 洋子

審査日程

9月10日

委員長挨拶・審査方針説明
午前 消防本部 税務課
午後 健康福祉課

9月13日

午前 出納室 議会事務局 住民生活課
午後 農業委員会 農林振興課 商工振興課

9月14日

午前 建設課
午後 生涯学習課 学校教育課

9月15日

午前 出納室 まちづくり課 総務課
午後 現地視察 (火葬場駐車場・悠紀の国五城目「自然観察園」・五小職員駐車場・わーくる・学童施設・雀館運動公園)

9月16日

午前 委員会決算認定について採決
審査総括

決算特別委員会は9月10日から休日をはさんで9月16日までの5日間の日程で行われた。付託された議案は、令和2年度一般・特別会計歳入歳出決算など7議案であり審査の結果、全議案を全会一致で認定すべきものとした。審査方針としては、議会が承認した予算がどのように執行され、町民や地域のためにどのような使われ方をしたのか、財政の現状と今後の見通しはどうか、次年度に結びつく審査とした。

決算特別委員会

委員長 畑澤 洋子
副委員長 工藤 政彦
委員 松浦 真
委員 佐々木 仁茂
委員 椎名 志保
委員 伊藤 正春
参事 石川 交三
(議会議長)

各課の 主な審査結果

消防本部

救急車は2台体制で出動件数351件。
ドクターヘリの要請が21件。高度かつ緻密な知識が求められる各分野に対応すべく、消防大学校警防課へ1名を派遣・県消防学校7課程に7名入校。救命救急士の病院実習等、実践教育をもって職員の育成に努めている結果が表れている。

税務課

収納率は過去10年間の中で最大の98・1%。訪問調査や税務相談、窓口の時間延長などで徴収額が増えている。県の滞納整理機構に職員を派遣するなど、全スタッフ一丸となって情報を共有し、相談に乗りその人に合った納付の仕方を進めてきた結果、収納率が上がったことを評価する。

今後も更なる自主財源の確保に努めてほしい。

健康福祉課

新型コロナウイルス感染症対策関連事業の主なもので、子育て特別給付金、一人親家庭等緊急応援給付金事業など喜ばれた。健康づくり応援事業、あったか生活応援事業は町民の健康寿命延伸に寄与できている。今後の課題として人生100年時代に向けて町民の健康寿命の延伸を図る事業の提供など財源の確保に努めてもらいたい。

出納室

一般会計、特別会計ともに資金の運用と管理について、財政調整基金の繰り替え、定期貯金による資金運用を行うなど健全な財政運用に寄与したことは評価する。

今後、災害があった場合に備えて財政調整基金の積み増しも必要である。

住民生活課

埋め立て処分場の改修工事により、令和25年度までの利用が可能になった。火葬場改修工事に先駆け駐車場の拡幅工事を実施。改修工事も終了すれば、今後の町民のニーズに応えることができるようになる。



整備された火葬場駐車場と納骨塔

課題として、自主防災組織の立ち上げが31町内会にとどまっている。全町内会から見れば半数に満たない。今後全町内71組織になっていく必要があるため、地域防災の充実に図りつつ自主防災組織の更なる育成に努めるべきである。

農業委員会・農林振興課

多面的機能支払交付金事業の農地維持支払・資源向上支払いで農地の環境向上につながっている。基盤整備は県もどんどん進めている。農家の話し合いと理解に町も応援し進めていくよう指摘した。コロナ関連の持続化給付金があったにも関わらず、農家の申請が少なく終わってしまった。町の周知不足であったと指摘。
森林環境譲与税でCO2削減に寄与したい千代田区からの申し出があり、交流促進を図ることで森林経営管理につなげていけると期待する。

将来への投資とコロナ対策 過去最大の決算をチェック

商工振興課

オール五城目商品券をはじめとして各種事業に取り組んだことで町民の暮らしをサポートした。視察を行った悠紀の国の自然観察園は、県の水と緑の森づくり税事業を活用して整備を行う事で、県外や道の駅利用者にもアピールできる。

朝市出店者の減少は課題として毎年指摘されているが、対応が必要なことであり改めて指摘した。



県内外の誘客を期待する道の駅自然観察園

建設課

舗装の損傷、上下水道管取り出し後の段差の解消、五城目外環状線の舗装改良を進めてきた。課題として、国道・県道からの道路の払い下げにより、道路補修、道路除雪に費用が掛かる町道の廃止なども検討が必要。

町営住宅に空き部屋があっても入居希望者がいない。払い下げも含めた柔軟な対応が必要である。

生涯学習課

地域図書室「わーくる」の整備が終えたことで町民の期待も増している。公民館が生涯教育の拠点だけの役割から各地区の拠点センターとしての役割が求められている。地域の公民館の在り方をもう一度精査する必要があるのではないかと。学校が地域から無くなった中で、公民館職員の役割も含めて見直しの時期に入っているのではないかと指摘した。

現地視察では雀館公園の状況を視察した。日本庭園の風化が著しい。公園周辺には新しい小学校、地域図書室、グ



荒れ果てた日本庭園

ラウンドに野球場、広域体育館、町民センターと町の主要な建物が集まる場所で、他町村の人も足を運ぶ公園の管理が行き届かず荒れている。思い切った予算措置で公園全体を整え、沢山の人が集う雀館公園の復活を望む。

学校教育課

小学校改築事業が完成。現地視察で児童が授業中のところに訪問した。備品も整えられ、児童が輝いて見える情景

多くの町民に愛される「わーくる」



に感動した。コロナ禍の政策でGIGAスクール用タブレット500台が実現できたことは今後につながる。

まちづくり課

秋田ホーセの廃止とマールの従業員削減は残念であったが、ハローワークとの連携など事後対応はできている。県内ではコロナ禍でも誘致が進んでいるところもあり、町長の企業誘致に関して今後一層の鋭意努力を望む。

総務課

店にマスクの入荷がなく、いつ補充されるかわからない時に、町からの布マスク一人2枚を全町民に配布したことは評価に値する。
今後の課題として町有施設の長寿命化に備え、公共施設等総合管理基金の積み増しが必要と指摘する。

※財政全般

財政見直しを厳しく見て行く準備が必要。現役世代より将来世代の負担が増えていく事は間違いない。今後5年間の過疎計画はあるが総合発展計画の中でも、10年間の行財政計画について、今後しっかりと見直しが必要。
シミュレーションの令和10年の将来負担比率136・1%を削減するために、常に危機感を持つながら行財政計画策定に取り組んでいくことが必要。高齢化率が50・1%となっている状況で、当町の介護保険料が基準月額全国ワースト2位であることにも改善が必要。

就学援助世帯のLTE通信費用 町が負担を検討

子ども達に救命の意識を

五城目消防署では、町内の小・中学校、高校で救命救急講習を実施している。救急車が到着するまでの時間は平均約8分。子どもたちは、心臓マッサージや止血方法を学ぶことで、自分と身近な命を守る事ができる。この取り組みは県内でも注目されており、夕方のニュース番組でも紹介された。



子ども達に命の大切さを

令和3年度より、小中学校で一人一台タブレットの持ち帰りがスタートしている。自宅にWi-Fi環境がない場合は、機能が十分に利用できないため、町ではLTE端末（インターネットに接続する機器）を用意している。9月の一般質問では、「Wi-Fi環境がない場合は、各家庭に通信費用を負担してもらう予定だ」という回答があった。委員からは「LTE通信費が各家庭の負担になるとするのは、学びの保障という観点からどうか」と質疑があり、当局からは「Wi-Fi環境がない世帯のうち、就学援助を受けている世帯は援助費の中で、対応できるよう検討したい。しかし、就学援助を受けていない

世帯は、他の家庭との不公平が発生するため、各家庭で通信費を負担してもらう。ただし、今後タブレットの利用を進める中で、随時運用を見直していく」と回答があった。



各家庭での学びにつながるタブレット

スポ少・部活の今後は

五城目第一中学校の部活動の中で、野球部や女子バスケットボール部など部員数が足りないために、他校との合同チームで試合を行うケースが増えている。委員からは「今後の部活動のあり方を町はどのように考えているのか」と質疑があった。当局からは「小学校のスポ少の人数がそのまま中学校の部活動へ直結しているため、スポ少加入者数の推移を把握し、近隣町村とも協議しながら、スポーツの啓発につとめたい」と回答があった。

委員からは「一方で、スポ少の活動は保護者の負担が大きいという実情がある。八郎湯町ではPTAや町の教育関係者などを集めた『教育振興大会』で部活動、スポ少のあり方について議論した。当町でも町民の意見を直接聞き対応を考える会を持つほしい。」と提言があった。



スポ少・部活動のサポートを

教育民生 常任委員会

パンの店 あったか小町 9月いっぱいまで閉店



惜しまれながら閉店のあったか小町

朝市通りに店を構え上質のパンを提供していたが、コロナ禍が続く中で売り上げは従業員の努力によってかろうじて横ばいを保っていた。しかし材料の高騰・機材の故障・販売委託先への搬送など、従業員の努力だけでは維持できない状況が続いていた。どうにか維持できないかと模索したが、五城館の経営も同様にコロナ禍の影響で減収しているため、(株)あったか五城目ではパン販売部門閉店を決めた。委員からは「非常に残念だ。どうにか維持できないか」「店舗や機材を含めて貸し出したらどうか」と質疑があり「今後の活用法を模索している」と回答があった。

朝市出店者55人に講習を

食品衛生法が改正され、令和3年6月1日より新たな営業制度が始まる。これを受けて町では、朝市出店者（町内27名・町外28名）に対し食品衛生責任者養成コース受講の費用を補助する。予算計上は受講費一人12,000円（テキスト代含む）と送迎バス代。「食品衛生・食品衛生法・公衆衛生学」を学ぶ。受講しないと商品を仕入れて販売している人は出店できなくなる。自家栽培の



朝市存続に向けて

(畑澤 洋子)

総務産業 常任委員会

過疎地域持続的発展計画

過疎債で財政補給を受け過疎地域の持続可能な地域づくりの形成と、地域資源を活用した地域活力の向上をめざす。令和3年から令和7年まで前期5年間の計画を策定する。委員からは「総

合発展計画との整合はどうか」と質疑があり「町総合発展計画は最上位計画で、整合を図る必要があるため、過疎計画を変更する可能性もある」と回答があった。

野菜を販売する人には必要ない。10月30日までは許可証を掲げてもらふことになる。

屈折検査機器で 弱視の早期発見を

町長 3歳児検診での
屈折検査導入は有効



弱視を見逃さない
スポットビジョンスクリーナ

煙澤 眼鏡をかけても視力が
出ない弱視。50人に一人は
いる。3歳児検診で屈折検査を
行う市町村は全国で3割程度
にとどまる。厚労省は3歳児
検診での導入を全国に促し専
用機器購入費の2分の1を補
助する。来年度の購入計画と
保護者への屈折異常検査の必
要性の周知、啓発を。

町長 3歳児健診前、自宅で
ランドルト環検査を実施。結
果を持参し、健診医が精密検

小・中学校で眼科健診の問診
票や保健便り希望者による
色覚検査を呼びかけている。
希望者には養護教諭が色覚検
査表で対応する。色覚異常が
認められた場合、保護者から
眼科受診へつなげている。
色々な学習場面での適切な配
慮・工夫を教員全員で共有し
対応している。

あなたにかわって
聞きました

一般質問



煙澤 洋子
(公明党)

**色覚特性を持つ
子どもへの配慮を**

煙澤 2003年度に学校保
健法が改正され色覚検査が必
須でなくなり色覚検査を受
けたことがない若者が多い。
2016年に学校保健安全
法の一部を改正し、保健調査
に色覚に関する項目を追加し
た。小中学校での色覚検査の
実施状況と、色覚児童生徒に
配慮している具体策は。

教育長 学校の健康診断で色
覚検査は必須項目ではない。
小・中学校で眼科健診の問診
票や保健便り希望者による
色覚検査を呼びかけている。
希望者には養護教諭が色覚検
査表で対応する。色覚異常が
認められた場合、保護者から
眼科受診へつなげている。
色々な学習場面での適切な配
慮・工夫を教員全員で共有し
対応している。

**独居高齢者を
見守り電球で守る**

煙澤 地域内の関係性が希薄
する傾向にある中、高齢者の
社会的孤立が問題になってい
る。緊急通報システムがあつ
ても病気で倒れ発見される
ケースもある。緊急通報シス
テムに加え、電球点灯状態で
見守る非対面型サービスを始
めてはどうか。

町長 65歳以上の一人世帯は
7月1日時点で954世帯。
高齢者の見守りとしては有効
と考える。郵便物や新聞がた
まっている場合でも安否確認

**街路樹管理計画の
策定で安全な道を**

煙澤 通学の安全のため、小
学校前のケヤキを伐採する経
緯に議員から賛否両論様々な
意見があつた。景観という利
点もあるが毎年苦情が多いの
も事実。長期的な展望に立つ
た計画と管理で安全な道路の
維持を。

町長 幹線道路植樹帯にはケ
ヤキを植樹しており町で管理
している。落ち葉、落ち枝へ
の苦情もあり今後の方針の転
換を求められている。町民の
皆様の意見を拝聴する機会を
設け、街路樹管理計画の策定
を進める。



見守り電球の仕組み

一般質問

7議員が登壇 我が町政を問う

一般質問とは？

- ・年4回の定例会において、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。
- ・答弁を含む一人当たりの持ち時間は60分で、事前通告制が採用されています。
- ・質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

質問者

煙澤 洋子 議員

- 子供の未来を守る「弱視」の早期発見を
- 色覚特性を持つ子供への配慮を
- 見守り電球で高齢者の見守りサービスを
- 安全な道づくりに街路樹管理計画の策定を

斎藤 晋 議員

- これからの町のコロナ対策について
- 人口減少対策について
- 町の観光振興について
- 町の自然・動植物に対する考えは

工藤 政彦 議員

- 土地先行取得等に伴う登記事務について
- 小学校前、町道雀館幹線の交通安全対策と景観について
- 「いじめ」対策について
- 児童虐待の防止、「面前DV」の対策について

工藤 途子 議員

- 横断歩道の設置について
- コロナ禍における子育て中の家庭の支援について
- 保育施設の充実について
- 保育料の無償化について
- こどもの遊び場について
- 空き家対策について

松浦 真 議員

- KPI目標に対する進捗は
- 救急搬送先の変更は
- 里親委託率の目標は
- 当町での若者の起業やチャレンジを
- 病児保育施設稼働に向けての課題は
- 空き家から通学路にはみ出た木々は

椎名 志保 議員

- コロナ禍での企業誘致、観光振興をどう進めていくか
- コロナウイルス感染症の広がりにより、憂慮される事柄について
- 定住対策に空き地の活用を
- 道の駅入り口を蓮の沼に

荒川 滋 議員

- まちづくりに関して
- 消防団について
- 火葬場の休日確保
- 雀館グラウンドと小学校旧校舎グラウンドについて

* 誌面の関係上掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。

五城目町議会映像配信 www.gojome-town.stream.jfit.co.jp



意義ある発言機会は大事な 議員活動の場といえます。 議会を傍聴してみませんか？

傍聴の手順をご紹介します。事前連絡は不要です。

- ①役場4階へ上がります。
(エレベーターを
ご利用ください)



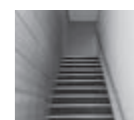
- ②議会事務局前で受け付け。
(受付表に必要事項を記入
検温と手指の消毒剤あります)



- ④町の方向性を直接聞くこ
とができます。
(開会中はお静かに願います)



- ③階段で傍聴席へ。(定員40名)
(現在は、コロナ禍において
定員15名としています。)



※新型コロナウイルス感染拡大の防止および、傍聴におこし下さる皆様の健康を守る観点から、当分の間、傍聴を自粛いただく場合がございます。 お問い合わせ先 議会事務局 018-852-5411

(工藤 政彦)

新校舎前に押しボタン式 信号機の設置を

町長 児童の安全面を考慮し関係機関へ
要望していく

あなたにかわって
聞きました
一般質問



工藤 政彦

工藤 押しボタン式の信号機を設置し、さらに強化した安全対策を要望する。

町長 令和元年12月に五城目警察署交通課と小学校移転改築に伴い通学路の安全対策について協議した際、設置できないとの回答であった。今後も周辺の交通量などを見極め児童の安全面を考慮し関係機関へ要望していく。

ガードフェンスの設置を

工藤 ケヤキ伐採後の横断歩道付近があまりにも無防備状態で危険を感じる。冬季間などのスリップによる車両の侵入事故防止対策のためガードフェンスの設置を要望。

町長 双方からの見通しの効く、安全対策を進めていく。

あなたにかわって
聞きました
一般質問

「朝市のある町」 本気で対策を

町長 朝市を先人から引き継ぐことが
長としての使命



齋藤 晋

町のパンフレットから「朝市のある町」を削除

齋藤 朝市出店者の減少により魅力が急激に衰退している。過去にも質問をし、打開策の答弁があったが改善が無い。町が本気で対策しないのなら、パンフレットから「朝市のある町」を削除したらどうか。

町長 人口減少・高齢化・生活環境の変化に伴い、出店者の減少が続いている。朝市振興委員会や朝市わくわく盛り上げ隊などと連携し、支援策を模索している。コロナが終息した暁には盛大なイベントを開催したい。歴史ある朝市を先人から引き継ぐことが行政の長としての使命と認識している。



感染予防対策が施された小学校の教室

小中学校やこども園のコロナ対策は

齋藤 デルタ株が猛威を振るい、これまでの対策では通用しなくなっている。国や県の対策でなく、子どもたちを守るための町の対策はあるか。

町長 感染予防対策として、朝の検温・手指の消毒・手洗い・うがい・マスクの着用など基本対策の徹底のほか、換気・椅子の間隔を空ける・触れる箇所を学校サポーターが消毒するなど日々徹底している。その他、非接触式検温器の設置や消毒液の補充、教職員に対するワクチンの優先接種などの対応をしている。

制限速度30キロ規制

工藤 小学校を中心とした半径約500メートルを通学路スクールゾーン「ゾーン30」区域とし、町民センターから、体育館を含め、小学校新校舎入り口を過ぎたあたりまで、最高速度30キロメートル毎時の速度規制の実施を提案する。

町長 通学路安全推進事業実践委員会などの際、関係機関と協議し検討していく。



入り口付近に信号機とガードフェンスを

土地先行取得に伴う未登記事務処理を早急に

工藤 旧開発公社による土地先行取得で未登記の土地が存在している。数十年前の先行

町花「やまゆり」・北限の「スズムシ」が消える

齋藤 昔は野山にやまゆりが咲き、スズムシが鳴き風情があった。しかし、やまゆりもスズムシも姿が消えそうになっている。復活・保全に対し町がすべきことは何か。

町長 町花「やまゆり」の保護団体である五城目町やまゆり栽培研究会。地域振興を図る目的で、町も連携し増殖に努めたい。北限の「スズムシ」の群生地として歴史ある町でもあり、飼育環境を整備する



保全が必要なやまゆりの栽培

取得に伴う代替地において、公園でなくフリーハンドの図面だけ、境界杭も打たれておらず荒地状態にある。早急の対応をする必要がある。

町長 五城目町開発公社は、平成17年度に全ての清算を終えて解散したものと認識していた。このような事案については把握できていなかったことから、現在調査中であり、出来るだけ早期に解決できるよう対応していく。

「いじめ」対策は

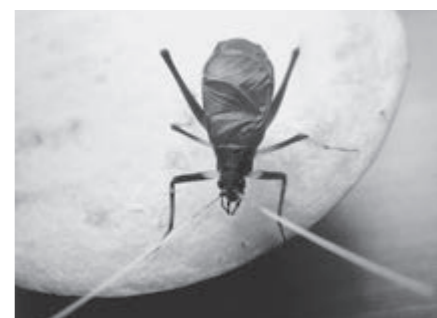
工藤 いじめ防止対策推進法で、いじめの定義が拡大した。近年は認知件数が増加傾向にあると聞かすが、町の現状は。

教育長 令和元年度、五小のいじめ認知件数が4件。五一中は6件。令和二年度は、五小2件、五一中5件となっている。「冷やかし、からかい、悪口や脅し文句、いやなこと」を言われる」が主。

工藤 いじめの早期発見、解決のために学校で実施していることは。

教育長 「いじめ防止等のための基本方針」を策定し、全教職員で「いじめは、どの学校・学級でも起こりうる」との共通認識に立ち、いじめの未然防止と早期発見に取り組

ため、地域住民が各地区公民館と連携し、町民に対しスズムシを配布し、復活・保全に努めている。やまゆりが咲き乱れ、秋にはスズムシの音が響き渡る時代を顧みたま、寂しい思いがよみがえる事は共感する。今の時代に相応しい新たな五城目町を創造するための施策を展開する。



消えつつある北限のスズムシ

その他に

- 人口減少対策について
- 町の観光振興について
- 町の自然や動植物に対する考え方

などを質問しました。

んでいる。教師と児童生徒間の信頼関係の構築、児童生徒同士の人間関係の構築、家庭・地域との連携推進、各種アンケートや個人面談による実態把握、教師間の情報の共有化を行っている。

児童虐待の防止「面前DV」の対策は

工藤 児童虐待は身体的、心理的、性的、ネグレクトの4つに分類されているが、町の現状は。

教育長 重大事案は発生していないが、ケース会議として取り上げる案件は、年間1、2件ほどあり虐待の内容はネグレクトである。

工藤 コロナ感染拡大で在宅時間が多くなった影響などで、「面前DV」の影響を受けている児童生徒はいないか。

教育長 8月に面前DVによる心理的虐待として、児童相談所に通告となった案件が1件あった。

工藤 児童虐待防止のために町で取り組んでいる対策は。

教育長 ケース会議には福祉事務所、児童相談所などの専門機関をはじめ保育園、学校、警察署、保健師などの参加をいただき、情報共有と、より良い支援と対応を協議している。

あなたにかわって
聞きました

一般質問



工藤 途子

横断歩道の設置を

町長 近隣住民総意の要望に従って
今後進める



高齢者に優しくない歩道橋

工藤 大川地区国道7号線、改善センター前の歩道橋は、高齢者の方々など階段の上り下りが大変なことから、横断歩道の設置を望む。
町長 横断歩道に切り替える意向であれば、歩道橋を管理する国土交通省 秋田河川国道事務所に通じて要望し、改善していただくよう進めていく。

コロナ禍における子育て中の家庭の支援に向けて

工藤 万が一、学年閉鎖や休校になった場合、家庭への食事・家事支援などできないか。また、仕事を休まなければいけないる保護者の支援を。

町長 家庭への食事・家事支援については、自宅療養者が出た場合に外出しての買い物に難しいことから、弁当や保存食を届けている自治体もある。外出が困難な家庭と併せて生活困窮家庭も含めて、保護者が休校等により仕事を休まなければいけない場合の支援についても、様々な形の支援をしていく。

保育施設の充実を

工藤 業種の多様化により土日、休日に仕事がある保護者がいる。祖父母に預けるといいうのではなくて町としてそのような家庭を援助できるような施設を準備できないか。

町長 子育て中の家庭を支援する方策として、その需要の動向、実施にむけての課題を今後は探っていく。

保育料の無償化を

工藤 無償化に該当していない0、1、2、3歳児の保育料無償化を望む。
町長 保育料は学齢で算出されるので、2歳時クラスに在籍中に満3歳になっても、年度途中なので無償化の対象にはならない。



保育の充実が望まれる「もりやまこども園」

さらなる子育て世帯への支援策として、今後他の事業等との関連を進める。

空き家対策への対応を

工藤 空き家の管理、売却、相続登記などの相談に司法書士、宅建士、町職員による相談する機会を定期的に設けては。

町長 空き家に関しては、空き家の現状調査の実施、町外からの空き家相談についての情報提供などを行っており、管理不全な状態にある空き家に関する苦情が住民からあった際は当該所有者への情報提供・助言などを行っている。司法書士、宅建士といった法律、不動産などの専門家が一堂に会して、空き家に関する困りごとをサポートする機会を設けることは、困りごと解決へ近づく良い機会と思われるので、今後は実現性について進める。

あなたにかわって
聞きました

一般質問



松浦 真

DX化に向けた町職員の タブレット利用目標は

町長 年間の職員が行う会議数の10%
をオンラインで行う

松浦 地域図書室「わーくる」の目標数値に対して現状は。
教育長 8月末現在、利用者3,855人(年間目標4,300人)、貸出冊数0.4冊(年間目標0.5冊)に到達している。今後は蔵書の充実やイベントなどを企画しさらに親しみやすい施設として運営していく。

松浦 2022年までにPCを活用した授業を1日2〜3時間にすると教育長から答弁があった。目標数値に向けて現在の進捗は。
教育長 現時点で小学校が1.4時間、中学校が0.6時間毎日の授業で利用している。タブレットの持ち帰りは試験的に小学校で開始している。

コロナ禍の救急搬送は

松浦 コロナで入院の新規受け入れ中止などが相次いでいる。秋田市以外に男鹿や能代



にぎわいが生まれる地域図書室「わーくる」

方面の病院に向かうなどの市町村連携は。
町長 救急搬送先として、秋田市以外の病院でも搬送可能。患者一人ひとりのかかりつけ病院へ柔軟な救急搬送が行える。

病児保育施設稼働に向けての課題は

松浦 こども園では秋田県中央保健所の指導のもと、感染症対策を踏まえて、クラス閉鎖が行われている。今年になつてからの9ヶ月間で閉鎖になった回数およびその延べ日数は何日間か。
町長 ノロウイルス、RSウイルスによって8月末までのこども園のクラス閉鎖は7回で、延べ日数は21日。



病児保育への連携が望まれる湖東厚生病院

松浦 保育園機能のニーズを持つ保護者からは急遽の閉鎖のため、働くことが難しいとの声も聞く。病児保育制度を確保するのはどうか。
町長 平成30年度に当町の保護者向けにとったアンケートによると、幼児・病後児のための保育施設等の利用調査項目があり、「利用したいと思わない」50.7%。「できれば利用したい」45.3%。多様な働き方に対応した子育て環境の整備を推進する上で需要は年々高まってきている。

通学路の安心安全を



道路に広がる木やツタ

松浦 持ち主不明の空き家は何かあるか。また、五城目小学校への通学路で空き家から木々やツタがはみ出ている箇所がある。当町の対応は。
町長 現在、町で把握している空き家は292戸、持ち主不明の空き家は11戸、苦情が寄せられている空き家は3戸。管理不全な状態にある空き家等に関する苦情が住民からあった際は、当該所有者へ状況提供および助言等をしており、今年度は7件の対応を行っている。

該当する空き家へは持ち主へ情報共有を行い、町の道路にまで広がるツタや木は安全確保の観点からなるべく早く伐採する。該当箇所があれば教育委員会へ相談してほしい。

一般質問

企業誘致・観光振興 動きを止めないで



椎名 志保

町長 オール行政で取り組む

椎名 閉鎖されるマーレ社、秋田ホーセ社従業員の方々の再就職の状況、両社の今後は、企業誘致にどう動いているか。

町長 秋田ホーセ社103名の離職者のうち9名の再就職が決まり、また本社工場を利用し、新たな事業所が操業を開始。22名が縫製業を続ける。

10月末に閉鎖が予定されているマーレ社秋田工場は、協力会社との間で事業継続などについての調整を続けている。

誘致の可能性のある企業への訪問、企業ニーズに合わせたインフラ整備や優遇制度、関連する条例の改正や奨励措置などの検討を図り、誘致交渉の土台作りを進めていく。

椎名 にかほ市の道の駅象潟「ねむの丘」エリアにアウトドアアクティビティ拠点施設が整備され、アウトドア用品大手・モンベルが出店する。自然を生かした様々な観光体



協力会社と前向きな調整が続くマーレ社

験を提供し、新たな集客と滞在型観光の促進を目指すとしている。

他の自治体はコロナ禍においても企業誘致・観光振興の動きを停滞させていない。コロナ禍の今できること、アフターコロナを見据えて考えていることは。

町長 県と連携し、企業訪問を行い、企業立地推進基金や閉鎖した工場跡地などを活用した企業誘致に取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症拡大が収束せず、人流の抑制が求められる現状でアフターコロナを見据えた観光振興を見出すことは困難だが、町内観光業者の事業継続に向けた支援を急ぎ、「ものづくり支援事業」を活用し、民間

と連携した観光プランを模索していく。新たな観光資源の発掘や活用をオール行政で取り組む。

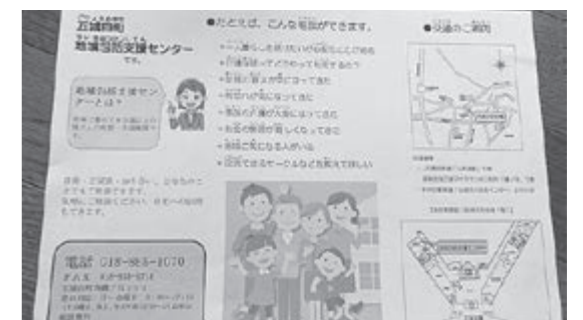
病院・学校内 感染確認の措置は

町長 もしも湖東厚生病院内でクラスターなどにより、外来診療が停止となった場合は薬のみの対応となり、外来診療は他の病院でと聞いている。

椎名 小中学校・こども園での感染・濃厚接触者が確認された場合の対応は、オンライン学習の準備は整っているか。

教育長 本人が感染者の場合は治療するまで、濃厚接触者となった場合は、2週間出席停止となる。学校の臨時休業・学級閉鎖については保健所や学校医と相談し、感染者の校内での態様や地域の状況を確認して決定する。

6年生がタブレットの持ち帰りを試験的に行っている。5年生以下や中学生も今後準備を進めていく。



町民の生活を守る地域包括支援センターの取り組み

高齢者の見守り、 介護予防どう進める

町長 他職種連携で地域に入り、高齢者の現状把握、介護予防、見守り、生活支援につなげることは喫緊の課題だ。地域包括支援センターでも専門職が連携し、個別訪問や電話での見守りや声掛けに努め、コロナ禍に沿った介護予防事業に取り組んでいく。

町と社会福祉協議会で定期的に協議し、共に地域福祉の推進に努めていく。

一般質問

次期地域公共交通計画を どう進める



荒川 滋

町長 ICT活用も視野に入れる

地域公共交通確保 のために

荒川 限りある財源の中、一般客混乗によるスクールバスの有効活用を。

町長 スクールバスは、学校のスケジュールや児童の居住分布により時期やルートが変わる。今後も生活交通とは切り離しての運行となる。

荒川 地域公共交通の次期計画をどう進める。

町長 現行の「持続可能な地域公共交通の構築」の考えを維持しながら町中心部や公共交通空白地の解消、近い将来のICT活用を視野に入れた計画にする。

車両火災は優良分団 表彰の判断基準から 除外すべき

荒川 日々無火災に努めている消防団の力が及ばない走行中の車両火災は、無火災優良分団表彰の判断基準から除外すべきだ。

町長 落雷などと同様に火災扱いとしている。近隣市町村も同様である。

荒川 車両火災を無火災判断基準から除外している自治体もある。東北で唯一、町単独で消防本部を持つ当町独自の取り決めをすべきだ。



団員に寄り添った施策を

来年度の、消防団 運営活動費補助金は

荒川 寄付金が廃止され、消防団運営活動費補助金（上限

10万円）制度がスタートした。来年度は。

町長 来年度も同額での支給を考えている。団員の年報酬の改定も検討している。

火葬場休日の 見直しを

荒川 労働環境改善のため、現在1月1日のみの休日を見直すべき。

町長 町民や遺族に寄り添い必要最小限の休日としている。昨年度の稼働日数は136日であり職員の休日確保は可能な状況で、待遇改善については施設の指定管理者が提案して行うべきで、町でも助言していく。

雀館運動公園グラウンド を使いやすく

荒川 整備工事が終わり新装なった雀館グラウンド。雑草対策のため、今後の維持管理を考慮し芝生化をしては。

教育長 芝生化にとらわれず多目的に利用しやすい環境づくりのためより良い管理の在り方について、町民や小学校

とも協議し検討する。

荒川 野球用バックネット、3塁側ベンチ内のイスの修繕が必要だ。



地面から浮き、針金がむき出しで非常に危険なバックネットは早急な修繕が必要だ

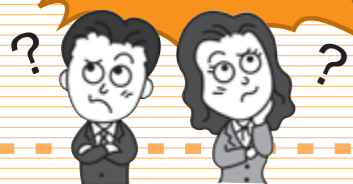
教育長 必要に応じて修繕を検討していく。

荒川 今がその必要な時だ。旧校舎のグラウンドに設置の簡易照明設備の移設と物置スペースの確保、野球用打ち込み型外野フェンスはどうなった。（昨年12月質問済み）

教育長 グラウンド整備が終了したこと、利用者の方の意見をいただきながら具体的に検討する。外野フェンスは今年度あらたに簡易フェンスを整備する。

なんとなったべが!

令和2年9月定例会一般質問より



陳情と意見書

9月定例会で3件の陳情を採択し、意見書を各関係機関に提出しました。

採択

陳情第4号

◆辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情

陳情者

「新しい提案」実行委員会
責任者 安里 長従
全国青年司法書士協議会
会長 阿部健太郎

意見書(抜粋)

沖縄県での県民投票に示された民意に反する辺野古新基地建設工事を中止し普天間基地運用を停止すること。ここに、遺骨の残る土砂を埋め立てに使うことは尊厳を損なうものであり認めるべきではない。普天間基地の代替施設が日本国内に必要か否かの国民的議論を行い、国会で法整備等の仕組みの中で解決すること。

意見書提出先

- 衆議院議長
- 内閣総理大臣
- 外務大臣
- 国土交通大臣
- 内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策)
- 参議院議長
- 内閣官房長官
- 防衛大臣
- 法務大臣

採択

陳情第5号

◆沖縄防衛局による沖縄本島南部の沖縄戦戦没者の遺骨が混じった土砂の採取計画を止めることを国に要請して求める意見書の提出要請に関する陳情書

陳情者

沖縄に応募する会@あきた
代表 兵藤 知子

採択

陳情第6号

◆沖縄本島南部土砂採取計画撤回に関する陳情書

陳情者

沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」
代表 具志堅隆松

陳情第5号・6号は同一趣旨であるため一つの意見書(案)とした。

意見書(抜粋)

沖縄戦では多くの貴重な命が失われた。秋田県で432人、五城目町では11人の方が最後まで戦い沖縄の土になった。沖縄本島南部地域の土砂には犠牲者の遺骨ばかりでなく血肉が染みており、埋め立てに使用することは人道に許されない。遺骨等が混入した土砂を埋め立てに使用しないこと。日本で唯一、住民を巻き込んだ苛

烈な地上戦があった沖縄の事情を鑑み、戦没者の遺骨収集を推進しその場所の環境を聖域として守ること。

意見書提出案に賛成した議員

- 工藤 政彦
- 椎名 志保
- 佐々木 仁茂
- 石井 光雅
- 佐藤 重信
- 松浦 真
- 荒川 滋
- 斎藤 晋
- 伊藤 正春
- 荒川 正己

反対した議員

- 工藤 途子
- 館岡 隆
- 畑澤 洋子

起立採決の結果、賛成10…反対3賛成多数で可決した。(表決は議長を除く)

意見書提出先

- 衆議院議長
- 内閣総理大臣
- 厚生労働大臣
- 環境大臣
- 内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策担当)
- 参議院議長
- 外務大臣
- 国土交通大臣
- 防衛大臣

第3回臨時会

令和3年7月21日

提出議案

①五城目小学校旧校舍解体工事請負契約の締結

指名15社中、12社で行った指名競争入札の結果、むつみ建設(株)(潟上市)が落札した。落札金額1億7,105万円(税込み)工期令和4年3月18日(予定)価格5,000万円以上の工事請負契約締結については議会の議決が必要。



安全対策に万全を期した工事が求められる

第4回 議会議員 全員協議会

令和3年8月25日

協議案件

- ・五城目町過疎地域持続的発展計画(令和3～7年度)について(詳細は3ページを参照願います)

(荒川 滋)

問

土砂災害警戒区域、特別警戒区域居住者へあらためて周知の徹底を。

1年前の答弁 様々な方法で周知に取り組んできたが、今後はより直接的な方法での伝達も検討する。

現在

土砂災害警戒区域内の著しく危険な「土砂災害特別警戒区域」のうち、特に指摘のあった神明前住宅については、今年6月の入居者に対する収入申告の依頼通知の発送の際に、担当する建設課と連携し、危険箇所の周知と避難指示等が発令された場合の「立ち退き避難」のお願いについて通知を同封し周知を図っている。



土砂災害警戒特別区域(神明前住宅)

問

オンライン前提の学びの具体的な構想や目標設定の策定はいつか。

1年前の答弁 現在策定されておらず、小中学校の2学期まで策定する。

現在

ICTを活用した学習が進められるよう教職員も研修を重ねている。子どもたちの学びが保障できるよう、タブレットを活用した学習指導を現在行っている。

問

第8期介護保険事業をどのように進めるか。また保険料の設定は。

1年前の答弁 人口推計、サービス量の推計、調整などを行い、策定委員会に諮りながら進めていく。保険料の設定は、12月に示す。

現在

第8期計画では、介護予防、フレイル対策、通いの場の拡大といった「予防・健康づくり」と高齢者が自分でできることを助ける「自立支援」の2つを重視して事業を展開する。第8期計画(令和3年～令和5年)の介護保険料の基準額については、人口推計、サービス見込み量の推計を行い、計3回の策定委員会に審議を諮り第7期計画から100円減額した月額8,300円と設定している。

問

子育て世代包括支援センターの充実を。

1年前の答弁

オンライン相談で、きめ細かなサポート実現に向け環境整備に努める。

現在

令和3年5月より、ごっこナビ(母子手帳アプリ)を登録している保護者を対象にオンライン相談サービスを開始した。コロナ禍であっても安全・安心な子育てが出来るよう、きめ細かな支援に努めていく。

よび
きて
けた
な

「地域の人の身近なお菓子屋さん」

○いつ、どんなきつかけで五城目へ

2018年春に五城目町に住む友人を訪ねたことをきっかけに、シェアビレッジに來たり、朝市に出店したりと訪れる機会が増えました。2020年4月に五城目町に住む夫と結婚し、地元の横手市から引越してきました。



朝市でも販売しています

○五城目で生活していて感じる

世代に関係なく交流があるまち、という印象があります。私の地元は雪が多いので、冬の生活の違いに驚きました。同じ秋田県でも暮らしや文化、言葉の違いがあり、戸惑うこともあります。面白さを感じています。



佐藤 恵里さん
(谷地中)

○これからに向けて

2021年春に自宅に菓子工房を構えました。「つむぐ」という屋号で、植物性100%の食材と、砂糖の代わりに自家製甘酒やドライフルーツを使ったお菓子を作っています。店舗はなく、卸販売や五城目朝市などの出店販売が主ですが、月に一度、夫が営む佐藤木材容器のギャラリーで販売会を行っています。地域の人の身近なお菓子屋さんになれば、と思っています。

(松浦 真)

がんばってます

最後の最高の運動会



五城目小学校6年
館岡 紅花さん

今回の運動会は小学校生活最後の運動会だったの

で、いつも以上にがんばりました。六年という学年は、旗の準備、応えんを毎年考えてみんなを動かしている学年なのだなという姿を見てきました。とても大変な思いをしていたんだと自分達も六年になり、やってみて感じました。それに今年には新型コロナウイルスのため声を出して応えんすることができませんでした。だから工夫して物事を進めなければいけなかったの

で、みんな「難しい、難しい」と言っていました。また、小学校生活最後の運動会は、新しくできたグラウンドで雄大な森山に見守られ、しかも、五城目町



金メダル級の力を発揮

が近くに感じられました。町全体で心を一つにできた気がして安心して行うことができました。色々な競技の中で転んでしまった仲間や追いこされてしまった友達を、一切責めることなく、「がんばったね」「おつかれさま」などはげましの声が全校から聞こえてきて、全校が金メダル級の力を発揮した運動会となりました。

(工藤 途子)

編集

後記

2年近く新型コロナウイルスに翻弄され、気づけば実りの秋。田んぼは一面の黄金郷になった。派手に見えるが次に来る冬を思わせもの悲しい。

9月定例会は、新型コロナウイルス対応、人口減少・高齢化・出生数の減少と不安をおおる課題ばかりだ。しかしこの難題に日夜挑戦している町の職員の皆様の努力を思うと、議員の提案、助言も冴えてくる。議会と当局の切磋琢磨は町民の励みになると確信している。コロナウイルスを克服した暁には、輝く笑顔でたたえ合いたい。

穏やかな気候に気も緩みがちだが、災害は突然にやってくる。いざというときの自分の行動をイメージしながら町ぐるみで防災減災に取り組んでいきたい。

畑澤 洋子 記

